

# 陸奥新報

## 県内事業所の外国人雇用は約 15%、6割が今後検討

25.03.01

青森県は28日、外国人労働者の雇用に関する実態調査結果を公表した。県内事業所で外国人労働者を雇用しているのは約15%にとどまる一方、雇用していない事業所の6割が「雇用を検討中・検討したい」と回答した。外国人労働者を増やし定着するためには、手続きや生活面への支援を求める声が多く、県は受け入れ窓口の設置や環境づくりの補助金といったサポートを進める。

県企画調整課によると調査は昨年12月、県内2000事業所を対象にインターネット形式で行い、947事業者が回答(回収率47・35%)した。

それによると「人材を確保できていない」「確保できているが将来に不安」との回答が9割を占め、福祉や建設業、小売業で割合が高かった。

労働者を確保するため新卒採用以外の手段を三つまで尋ねたところ、「中途採用の促進」が84・2%で最も高く、次いで「定年延長やシニア世代の雇用」が36・9%だった。「外国人労働者の雇用」は13・4%にとどまり、消極的な姿勢も浮き彫りとなった。

一方、外国人労働者の雇用について「していない」は85・4%で、そのうち60・1%が「雇用を検討中・検討したい」とした。

# 八戸工業大学：特定技能エンジニアプログラム 入校式を実施

25.05.16

本学では昨年4月から「八戸工業大学外国人特定技能エンジニアプログラム」を開設し、留学生の特定技能1号試験合格を支援してきました。今年度もミャンマーから留学生を受け入れ、試験合格に向けた講義を展開します。前期(5月～9月)は、建設分野と自動車整備分野あわせて10名の留学生が入校しました。



5月16日(金)に入校式を実施。教職員、内定先企業の関係者などが出席し、入校を祝福しました。船崎学長は挨拶冒頭、「မင်္ဂလာနိမိတ်ခင်ဗျားပါ။ (おはようございます)」とミャンマー語を披露。入校を歓迎するとともに、充実した日々を送り目標を達成することを願いました。続いて、入学生を代表して自動車整備分野のリンゾウ カインさんが挨拶しました。「初めてのことに不安もあるが、それ以上に楽しみな気持ち強い」と話し、今後の授業や就業に熱意を示しました。

# 青森県「企業向け留学生採用セミナー／交流会」を 開催へ

25.06.19



「優秀な人材がほしい。」そんな企業の皆様  
留学生の採用を考えてみませんか？

令和7年度  
留学生採用セミナー

留学生は豊かなポテンシャルを持つ貴重な人材です。

現在、青森県内では約400人の留学生が学んでいます。外国語に長け、日本の文化や習慣に対する理解もある留学生は、多様なバックグラウンドや視点を持ち、その異文化適応力や新しい環境での挑戦力は、変化の激しいビジネス環境で、企業にとって強みとなります。

人手不足がますます深刻化していく中、このセミナーでは優秀な労働力を確保する一つの手段として、外国人材の必要性や採用事例を学ぶことができます。

**こんな企業様にオススメ！**

- ・困難を問わず優秀な人材を採用したい。
- ・海外展開を見据えて外国語を話せる人材がほしい。
- ・留学生の採用について幅広く学んでみたい。

日 時 7月4日（金）13:30～15:30  
場 所 アスバム8階「しらかみ」  
（青森市實力1-1-40）及びオンライン  
対 象 県内企業、関係団体、市町村等  
参加費 無料  
申込み 下記リンクもしくはアソシエーションの二次長パスワード  
からお申し込みください。 <https://aop02019/>  
内 容 ① 基調講演  
「労働力人口の動向と  
外国人材の必要性」  
国の社会保険・人口問題研究所  
国際関係部長 藤川 夕 氏  
② 事例紹介  
北日本造船株式会社(製造業)  
株式会社コンシス(情報サービス業)  
株式会社三沢奥入瀬観光開発(宿泊業)  
③ 情報提供  
「優秀な外国人材の採用・育成支援実績」  
JETRO 知的資産部 高度外国人材課  
課長 吉田 悠輔 氏

主 催 青森県、JETRO青森

青森県総合政策部  
総合政策課  
〒030-8570 青森市青森1-1-1  
TEL:017-846 2111 www.pref.aomori.lg.jp



青森県では、労働力確保対策の一環として高度人材としての留学生等の県内就職促進に取り組んでおり、これに関連して企業向けのセミナー等を開催します。留学生と県内企業とのカジュアルな交流会です。就職を考えている留学生の皆様、優秀な人材をお探しの企業の皆様、お気軽にご参加ください！

# 10年前の4.4倍で過去最多の青森県内の 「外国人労働者」受け入れや支援体制に関する 勉強会が開催 青森市

2025.07.18

労働力不足などを背景に全国で230万人を超え、過去最多となった外国人労働者の受け入れや支援体制に関する勉強会が青森市で開かれ、出席者が意見を交わしました。16日の勉強会には、東青地域を中心に市町村の担当者や事業者などが参加しました。青森労働局によりますと、県内で働く外国人労働者は2024年の時点で6190人います。これは過去最多の人数で、10年前と比べると4.4倍に増えている一方、全国では230万人いて、都道府県別では42番目と少ない傾向があります。



出典：<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2052485?display=1>

# インドネシア出身の技能実習生 日本語の弁論大会 で優秀賞 将来は日本語教師に

2025.08.01

青森県田子町の外国人技能実習生が、日本語の弁論大会で優秀賞を受賞しました。

インドネシア出身のニマ・マウラさんと勤務先の社会福祉法人吉幸会の関係者たちが7月31日、田子町の山本晴美町長に受賞を報告しました。

ニマさんは2年前に来日し、町内のグループホームで入居者の介護などを行っています。7月に仙台市で開かれた全国外国人技能実習生日本語弁論大会で、参加者18人のうち最優秀賞に次ぐ優秀賞を受賞しました。



# 2025実習生交流会（夏）を開催いたしました！

2025.09.17

吉幸会では、親元を遠く離れ、当法人の施設・地域で頑張っている実習生（特定技能実習生・技能実習生）同士の交流を促進し、お互いに支えあい、励ましあいながら目的である技能の習得に励んでいたく為に企画・実施しています。実習生相互の交流促進に加え、「地域」や「地域住民」との文化的・人的な交流を図る事も目的としています。



出典：<https://mirokuen.com/honbu/2025>

# 宿舎で同僚切りつけたベトナム人実習生の男に 拘禁刑1年2か月を求刑 弁護側は執行猶予求める

2025.10.7

五所川原市の会社の宿舎で同僚の男性の首などを包丁で切りつけ、けがを負わせた傷害の罪に問われているベトナム国籍の男の裁判で、検察は拘禁刑1年2か月を求刑しました。五所川原市梅田の解体作業員グエン・ヴァン・タム被告33歳は、ことし7月5日、五所川原市の会社の宿舎で開かれた飲み会で、同僚のベトナム人技能実習生の被害者と口論になり、包丁で首などを切りつけ全治1週間のけがを負わせた傷害の罪に問われています。もみ合った際に、グエン被告も被害者から包丁で左肩などを刺されてけがをし、当初は殺人未遂事件として捜査されていました。その後、罪名を傷害に切り替えて起訴されていました。



出典：

<https://news.ntv.co.jp/n/rab/category/society/rae49b24834d64442795112bc237276868>